

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第18回武蔵村山市環境審議会
開 催 日 時	平成25年10月1日（火）（午後2時～午後4時）
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：吉田洋市委員、高木宏友委員、田島せつ子委員、中山忠委員、 加藤大明委員、川島修委員、柳下佳仁委員、熊木正好委員、 大道和彦委員、飯田いずみ委員。 欠席者：なし。 事務局：生活環境部長、環境課長、環境課主査（環境保全グループ）、 環境課主事（環境保全グループ）
議 題	1 会長及び副会長の互選について 2 平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価について 3 その他
配 布 資 料	・次第 ・武蔵村山市環境基本条例 ・武蔵村山市環境審議会規則 ・武蔵村山市環境審議会の会議の公開に関する運営要領 ・武蔵村山市環境審議会委員名簿 ・武蔵村山市環境基本計画（改訂版） ・武蔵村山市環境行動指針（市民編・事業編） ・平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：会長に柳下佳仁委員、副会長に熊木正好委員を選出した。 議題2：市長からの諮問を受けて、環境審議会委員が「平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）」の事業実施報告及び重点的取組実施報告について審議した。審議した結果、会議の時間内で、点検・評価が全て終わらなかったため、次回の審議会に持ち越しとなった。 議題3：次回の環境審議会の日程については改めて連絡することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (○=委員、 ●=事務局等)	議題1 会長及び副会長の互選について 会長に柳下佳仁委員、副会長に熊木正好委員を選出。 議題2 平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）の環境指標及び環境施策の点検・評価 【説明要旨：平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく報告書（武蔵村山市年次報告書）（案）を参照】 ● 平成24年度武蔵村山市環境基本計画に基づく（武蔵村山市年次報告書）（案）の内容と評価について説明。 【主な意見等】 ○今までの取組で、進展した取組は何か。 ●次回の審議会までにまとめることとする。 ○8ページ、環境指標の「狭山丘陵周辺公園等面積」で、目標値219.2haに対して、平成24年度末の実績が約半分であるが、環境施策の市の取組を行ったら、狭山丘陵周辺公園等面積の増加に繋がるのか。 ●市の取組を行うことで面積の増加に繋がると考えている。

- 同じページ、環境施策の方向と市の取組の「社寺林の保全策の検討を行います。」で、社寺林の所有者の理解を求めることが困難で、未実施とあるが、同じページの環境施策の方向と市の取組の平成24年度の取組状況で、個別の樹林の保全を行っているということから、形を変えて今は努力しているということや社寺林の保全策を進めるということによって所有者に対してコミュニケーションを取っている旨を書いてはどうか。
- 未実施の理由について検討することとする。
- 8、9ページ、平成24年度の取組状況の評価がC、Dが一つあり、指標が達成できていないのはどういうことか。
- 環境基本計画に（改訂版）を策定するに当たり、環境指標の目標は高く設定したため、C、D評価が増えてしまった。
- 小中一貫校が建てられた際に、敷地内にあった樹木の一部が切られたようであるが、平成24年度の市で管理している緑地の増減についてはどうなっているのか。
- 市で管理している緑地の増減については、後日調べて、次回の環境審議会で報告することとする。
- 10ページ、環境指標の「水辺と触れ合える箇所数」で、目標値7に対して、実際には3か所であり、その差を埋めるにはどうしたらいいのかを環境施策の方向の市の取組に記載した方が良いのではないかと。
- 環境指標と環境施策の方向の市の取組の内容は別のことと捉えており、今後、環境基本計画を策定する際に、整合を図るよう検討する。
- 20ページ、環境指標の富士見橋の「残堀川におけるBOD濃度」で、平成24年度の、BODの値が高くなっているが、どんな原因が考えられるか。また、現状は水量が少ないが、水量の確保はできるのか。
- BODの値が高い原因は、水量が少ないためと考えられる。水量の確保は、東京都が各市と協力し、河川の改修工事を行う等の取組をしているところである。残堀川及び空堀川は、東京都の管轄になるので、水量の確保に向けて都へ要望を行っている。
- 21ページ、環境指標の「地下水の環境基準の達成状況」の中で、三ツ木一丁目地内でテトラクロエチレンの値が環境基準より高く評価がCとなっており、問題はないのか。市はどのように対応を図ったのか。また、この報告書がわかりやすいものになることが望ましいことから、問題となっている調査地点についての注釈を入れた方が良いのではないかと。
- この物質は、ドライクリーニングに使用される溶剤であり、調査地点の周辺の地域において、新たに調査をしたところ、検出されなかったことから、原因は不明であった。そこで、多摩環境事務所に対応について相談したところ、調査地点の井戸は飲用ではないが、取扱には注意するよう指示があった。市としては、継続監視をして、飲用しないよう注意していく。再度、調査するかは、今後、検討することとする。
- また、飲料用ではない旨と市の対応等を注釈にて記述することとする。
- 24ページ、環境施策の方向と市の取組の「水洗化の普及を促進し、河川の水質浄化に努めます。」で、未水洗化世帯は何件あり、どういう取組をして未世帯に接続をさせているのか。
- 平成24年4月1日現在、336件未接続で、平成24年度は、そのうち16件が下水道へ接続した。構造的な理由や経済的に接続が難しい世帯もあるが、区域を定めて、直接訪問して説明を行い、重点的に水洗化を進めている。
- 同じページ、環境施策の方向と市の取組の「地域住民や関係機関と協力し、水質汚濁の監視や指導に努めます。」で、平成24年度はどのよう

な通報があったのか。

- 川から異臭が放ち、白く濁った等といった通報があったので、東京都の協力を仰ぎ、調査及び指導を行った。
- 28ページ、環境施策の方向と市の取組の「公共施設における自然エネルギーの利用促進に向けた啓発を推進します。」で、第一中学校で太陽光発電を実施したとあるが、今後、他の学校について設置の予定はあるのか。
- 平成25年度は雷塚小学校で設置をしており、校内の電力の一部として使用している。また、設置については、学校の改修の際に検討を行い、今後については未定である。
- 24年度の取組をまとめて、年次報告書を公表するということから、「～検討した。」という部分だけではわかりづらいと思うので、可能であれば、どうしてその評価になったのかを書いてはどうか。
- 具体的に、どこの項目がわかりづらいのかを指摘していただければ、その部分をわかりやすくすることとする。
- 同じページ、環境施策の方向と市の取組の「公共施設における自然エネルギーの活用を図ります。」で、第一中学校の太陽光発電の電力が全体で使用する割合の何パーセントを補うことができたのかを記載した方が良いのではないか。
- 第一中学校で設置した太陽光パネルの電力は10kWで、学校全体の電力の数パーセント程度しか補えないため、太陽光発電の設置を行うこと自体に問題あるのではないかと考えられてしまうことから、詳細な表現は控えた。
- ごみについて今後どのように取り組むのか。
- ごみが多く出る企業に対して、ごみの資源化等に努めるよう説明をしている。家庭ごみに関しても、市報等でごみを出さないよう呼びかけており、引き続き、ホームページや市報、ごみの情報誌で企業や市民に対し、啓発を行っていく。
- 29ページ、環境指標で、排出物原単位の評価がCに対して、環境指標の最終処分量がA評価となっているが、どのようなことか。
- 排出物原単位の多くを占める可燃ごみは増えているため、目標達成には至ってはならず、評価はCとしたが、最終処分量は、不燃ごみの埋め立てであり、減らすことができていることから、評価はAとしている。
- 以上、審議した結果、多数の意見が出たため、次回の審議で再度、点検・評価を行いたいとしたいが。

● 結構である。

○ 議題2の「武蔵村山市年次報告書の点検・評価について」は終了とする。

議題3 その他

○ 議題3の「その他」に入るが、事務局から何かあるか。

● 次回の第19回環境審議会の開催日は、11月中を予定しており、詳しい日程については、改めて連絡することとする。

○ 第18回武蔵村山市環境審議会を閉会する。

—以上—

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由	傍聴者： <u>0</u> 人
	( )	

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：	)
	<input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：	)

庶務担当課	生活環境部	環境課	(内線：295、296)
-------	-------	-----	--------------

(日本工業規格A列4番)